SPIRIT FITNESS

A Heritage of Quality | The Spirit of Innovation

CT800 トレッドミル

取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください

目次

安全に関する重要事項	2
電気に関する重要な情報	3
製品の使用に関する注意事項・安全キー	4
組立部品チェックリスト	5
組立説明	6
トレッドミルの操作方法	10
プログラムの機能	14
フィットネステスト	15
目標心拍数	18
心拍数トランスミッターの使用に関して	19
心拍数コントロールの操作方法	20
メンテナンス	21
サービスチェックリスト・診断ガイド	23
分解図とパーツリスト	25
保証書	29

本製品をお買い上げいただきたいへんありがとうございます。 本取扱説明書は必ず安全なところに保存してください。

本取扱説明書に記載の無い改造や、 調整、 修理、 メンテナンスを

CT800-130417-01DJ

安全に関する重要事項

警告 － 本製品を使用する前に、本書を良くお読みください。

危険 － 感電の危険を減らす為に、掃除またはメンテナンス作業の前にコンセントからトレッドミルを外して下さい。

警告 － やけど、火事、感電、けがの危険を減らす為に、レッドミルを水平な表面でかつ、AC200V、10A の接地されたコンセントにアクセス出来る場所に設置して下さい。

延長コードを使用する場合、16AWG 以上でかつ先端に一つの差し込み口しか付いていないものを使用して下さい。トレッドミルは他の器具と共用せず、コンセントを単独で使用して下さい。不適切なアダプタを使用し、またはその他の方法でコードセットを改造する事により、接地プラグを無効にしないで下さい。感電や火事、またコンピュータの誤動作の原因となります。

- ■ エクササイズを行う前に医師にご相談下さい。特に 35 歳以上または既存の健康障害がある方に関しては注意が必要です。
- ■ 運動中に吐き気、めまいなどの異常な症状が発生した場合は、直ちにトレーニングを中止し、医師に相談してください。
- ■ 筋肉の痛みや過負荷を防止するために、トレーニングの際は、ウォーミングアップ運動から開始し、クールダウン運動で終了して下さい。トレーニングの最後にストレッチを忘れずにおこなってください。
- ■ カーペットと本機器が損傷する恐れがあるので、繊維の長い、深いカーペットの上で使用しないで下さい。
- ■ トレッドミルの後ろをふさがないで下さい。トレッドミルと他の固定物との間は、1 メートル以上の隙間を確保して下さい。
- ■ 本機器に人をけがさせる可能性があるエリアとポイントがいつくかありますので、子供を近づけないで下さい。
- ■ 可動部に手を近づけないでください。
- ■ トレッドミルのコードやプラグが破損している場合は使用しないで下さい。製品が正常に動作しない場合、販売店までお問い合わせください。
- ■ 高温の表面から離して電源コードを保管して下さい。
- ■ エアゾールスプレー製品が使用されている場所や酸素が吸入される環境で本製品を使用しないで下さい。モーターからの火花が発火する恐れがあります。
- ■ 開口部に異物を落としたり挿入したりしないでください。
- ■ 屋外で使用しないでください。
- ■ 電源を外す際は、まず全てのコントロールをオフにして、次に安全キーを外して、最後にプラグをコンセントから外して下さい。
- ■ 本機器の使用目的以外での使用はご遠慮下さい。
- ■ パズルセンサーは医療機器ではありません。ユーザーの動きなどを含む様々な要因が心拍数測定の精度に影響を及ぼすため、パズルセンサの目的は、運動の補助として、全体の心拍数の変動傾向を把握する事です。
- ■ 安全のために、取り付けの手すりを使用して下さい。
- ■ 本機器をご使用の際は、ハイヒールや、ドレスシューズ、サンダルの着用または素足を避け、適切な靴をご着用下さい。また、足の疲労を避けるために、高品質の運動靴をお薦めします。
- ■ 本機器には怪我をさせる可能性があるエリアとポイントがいつくかありますので、子供を近づけないで下さい。

本取扱説明書を保存してください

常に安全を心がけてください！

電気の使用に関する注意事項

警告！

本製品を RCD（漏電遮断器）（米国バージョン = GFCI）付きの壁コンセントで使用しないで下さい。大型モーターが付いている他の器具と同様、 RCD/GFCI が動作して、 遮断する場合が多発する恐れがあります。 昇降機構や移動用ホイールなど、トレッドミルの可動部から電源コードを離して下さい。

機器についているカバーを外す前に、 AC 電源を切断して下さい。 電圧が 10% 以上変化する場合、トレッドミルの性能が影響を受ける可能性があるため、 保証の対象外となりますので、 ご了承ください。 電圧が低いと思われた場合は、 お近くの電力会社または資格を持った電気技術者にテストをご依頼下さい。

本製品を雨や湿気に晒さないで下さい。 本製品は屋外、 プールやスパの近く、 その他高湿度環境での使用を対象外としています。 使用環境は 40C 以下で、 湿度 95% 以下でかつ水が表面に結露しないことが条件となります。

ブレーカ：家庭用のブレーカは、 突入電流定格が低いものがあるので、トレッドミルの電源が最初に入った時や使用の途中にブレーカが落ちる場合があります。（トレッドミルの電流が定格内でかつ回路にトレッドミルしか接続していない時に）、 製品自身のブレーカが落ちず、 家庭用のブレーカが動作してしまう場合、 そのブレーカをより高い電流定格のものに置き換えて下さい。 これは製造メーカとしてコントロールできることではないので、 保証対象の欠陥ではありません。 ブレーカは電力会社でお取替えいただけます。

アース方法

本製品はアース接続する必要があります。トレッドミルの電気システムが誤動作または故障した際に、アース接続は感電の危険性を減らす為に、電流に対して最小抵抗の経路を提供します。本製品には接地プラグ付きのコードが装備されています。このプラグを、地域の法規や条例に準拠したアース接続されているコンセントに繋いで下さい。

危険 – 不適切なアース接続は、感電の危険をもたらす可能性があります。接続方法に対して疑問がある場合、資格のある電気技師または修理員にご相談下さい。本製品に付属のプラグがコンセントに合わない場合においても、プラグを改造せず、資格のある電気技師に適切なコンセントを付け替えてさせて下さい。

製品の使用に関する注意事項

- コンピュータの設定を変更することによる機器の動作変更について、 完全に理解したうえで、 本製品の操作を行って下さい。
- スピードや傾斜の設定変更はすぐには反映されないので、 ご理解下さい。 希望のスピードをコントロールパネルにて設定した後に、ボタンから手を離して下さい。 スピードは徐々に変更されます。
- 激しい雷雨の際に、トレッドミルを使用しないで下さい。 家庭用電源にサージが発生し、トレッドミルの部品を破損する恐れがあります。
- テレビの観賞または読書などをしながら、 本機器をご使用の際は、 バランスを失い、 またはベルトのセンタから外して、 重大なけがをする恐れがあるので、 十分に注意を払って下さい。
- ベルトが動いている間にトレッドミルの取り付けや取り外し作業をしないで下さい。 SPIRIT のトレッドミルは非常に低速でスタートするので、 起動時、 ベルトを跨ぐ必要がありません。 操作方法を理解したうえで、 トレッドミルを起動し、 加速するまでベルトの上に立って下さい。
- 設定（スピードや傾斜など）変更を行う際、 常に手すりやハンドバーを持って下さい。
- コントロールパネルのボタンに過度の力を加えないで下さい。 指で少し押すだけで反応するように精度設定をしてあります。 強く押しても、 反応は速くも遅くもなることはありません。 ボタンが普通の力で反応しない場合、 SPIRIT の代理店までお問い合わせください。

安全キー

本製品には安全キーが付属されています。シンプルな磁気設計となっており、常にご使用ください。ベルトの速度が速すぎの場合や、ユーザーが倒れたりした際に、安全にトレッドミルを停止させるための装置です。

安全キーを抜くことにより、走行ベルトの動きが停止します。

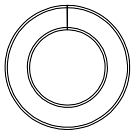
使い方

1. マグネットをコントロールパネルの所定位置に置きます。所定位置にない場合は、トレッドミルが動作しないのでご注意ください。
2. プラスチックのクリップを衣服にしっかりと付けて下さい。

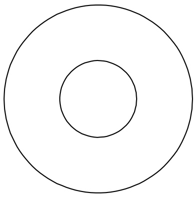
注意：マグネットの磁力が予期しない停止を最小限に抑えるための磁力を持っている為、クリップを衣服につける際は、外れない様に固定して下さい。また、その機能と制限を十分に把握して下さい。マグネットがコントロールパネルから外れると、スピードに依りますが、ベルトは慣性で数秒で減速しながら停止します。通常の場合は、赤色のストップボタンを使用して下さい。

組立部品チェックリスト

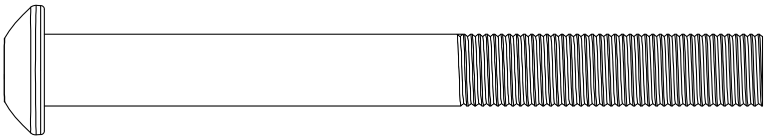
ステップ1



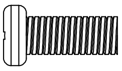
#58 - 3/8″
スプリングワッシャー（6 個）



#59 - 3/8″
平ワッシャー（6 個）

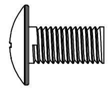


#104 - 3/8” × 3-3/4”
六角穴付ボルト（6 個）

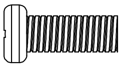


#73 - M5 × 12mm
プラスネジ（4 個）

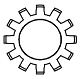
ステップ 2



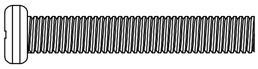
#110
- M5 × 10mm
プラスネジ（2 個）



#73
- M5 × 12mm
プラスネジ（1 個）

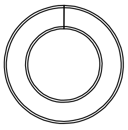


#125 - M5
スターワッシャー
（1 個）

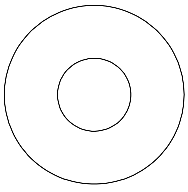


#112
- M5 × 30mm
プラスネジ（2 個）

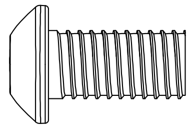
ステップ 3



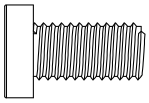
#58 - 3/8″
スプリングワッシャー（6 個）



#59 - 3/8″
平ワッシャー（6 個）



#105 - 3/8” × 3/4”
六角穴付ボルト（6 個）

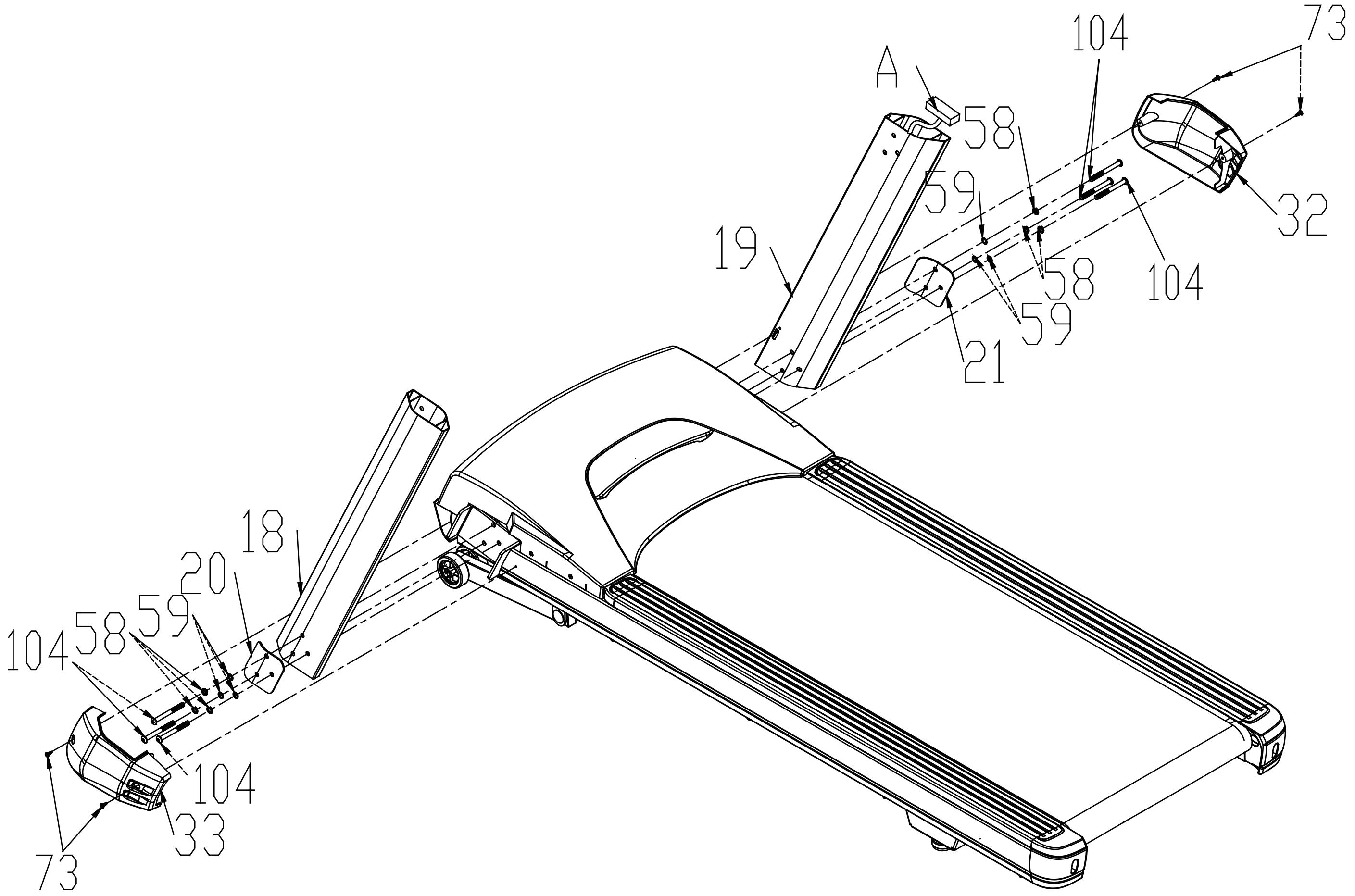


#108 - M8 × 12mm
六角穴ボルト（6 個）

組立説明

ステップ 1: 支柱の取り付け

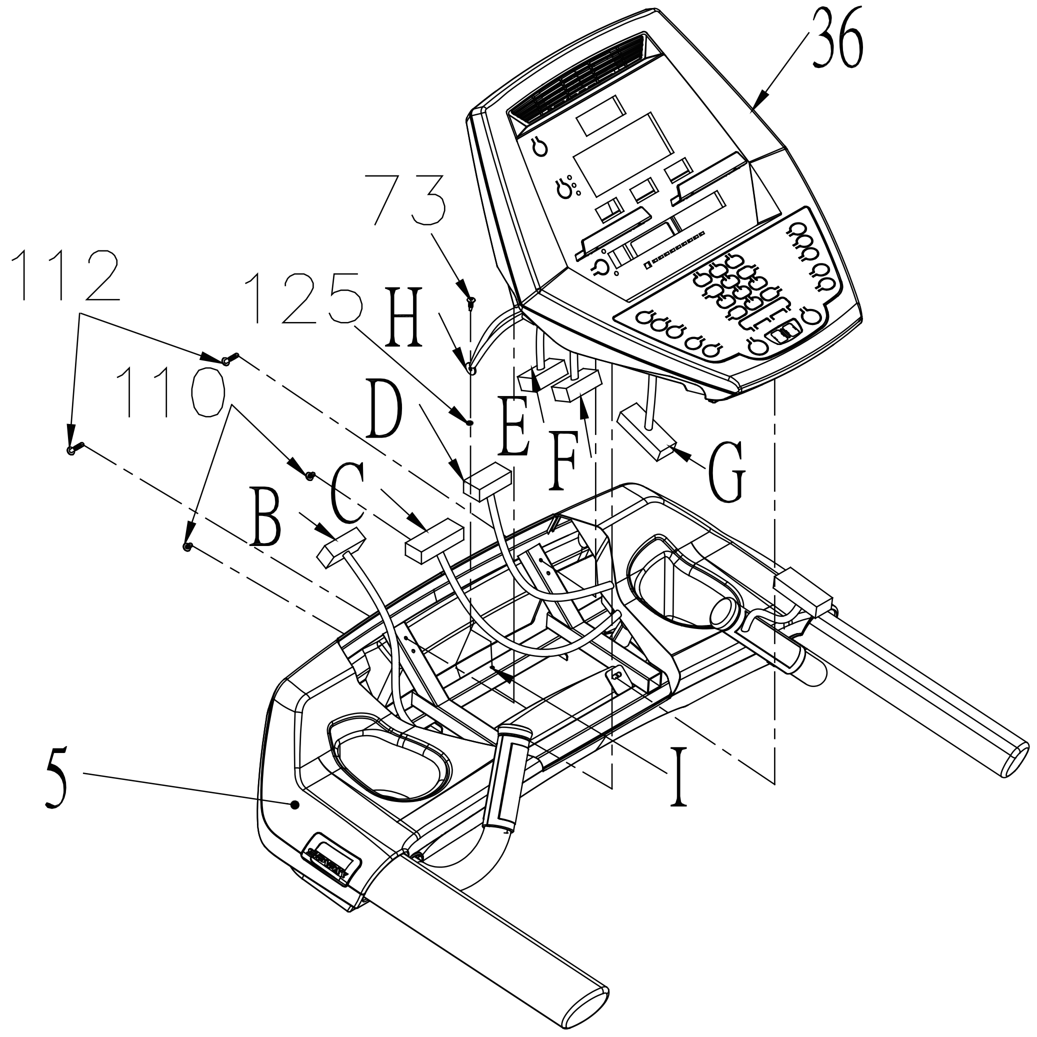
- 右側の支柱 (19) に、コンピュータのケーブル (A)(87) がプリインストールされています。歩行面から支柱を持ち上げて、ベースのフレームに取り付けます。コンピュータケーブルの取扱は、たるみをまっすぐにしながら、支柱とフレームに挟まれないように十分にご注意ください。保持板 (21) の上部にある穴を通して、1 本の 3/8” × 3-3/4” ボルト (104)、3/8” 割りワッシャー (58) と 3/8” 平ワッシャー (59) を取り付け、穴を支柱に合わせ、ネジでベースフレームにとめます。更に残りの 2 本のボルト (104) とワッシャー (58 & 59) を取り付け、最後に三か所とも締め付けます。
- 左側の支柱 (18) も同じ手順で取り付けます。
- 下側のサイドキャップ (32 & 33) を 4 本の M5 × 12mm ネジ (73) で取り付けます。



ステップ 2: コントロールパネルの組立

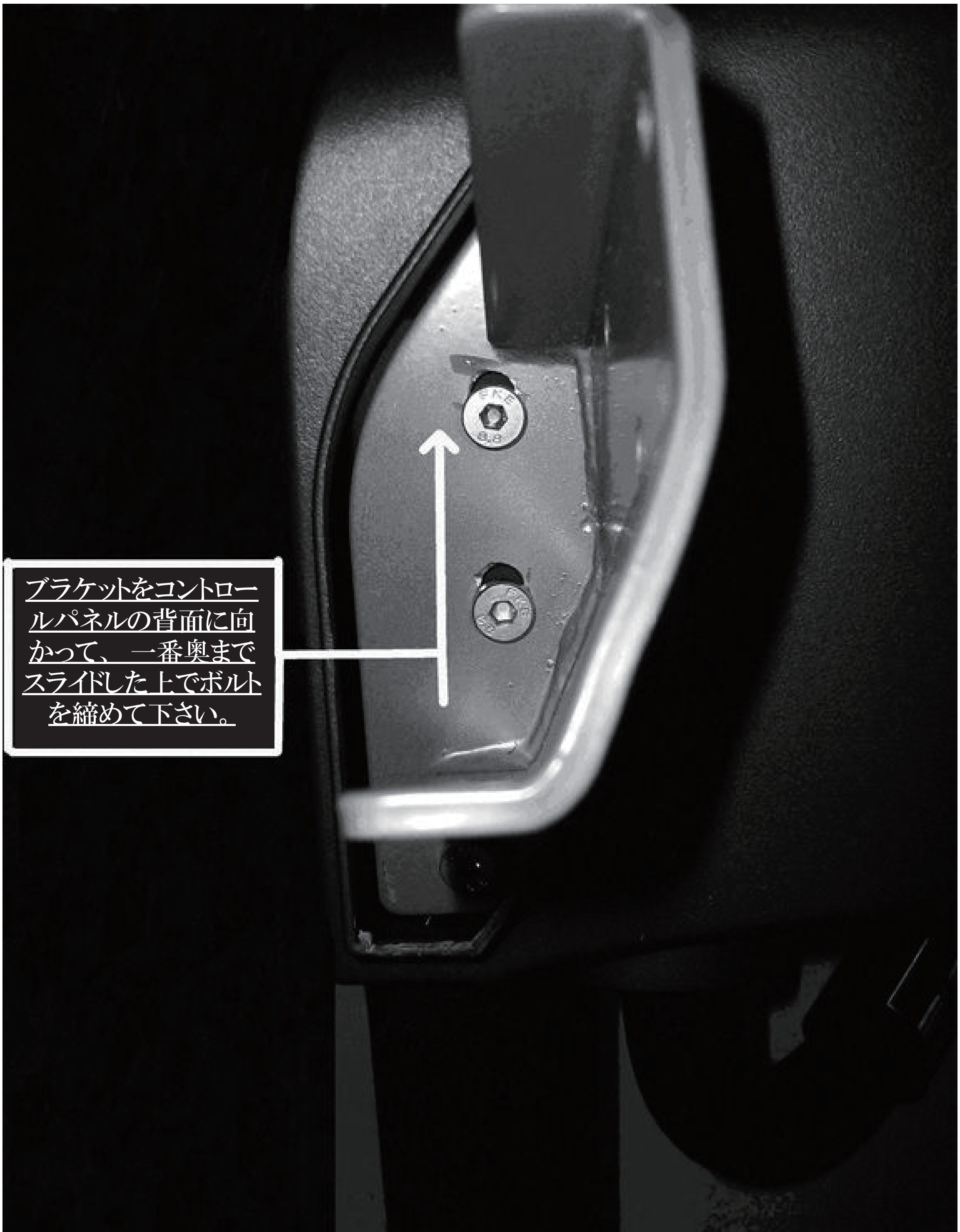
- ペアとなるコンピュータケーブル (G(86) & C(120)) 及びハンドパルスケーブル (右側 D(122) & F (88) と左側 B(28) & E(88)) をそれぞれ接続して、 更に M5 × 12 mm ネジ (73) と M5 スターワッシャー (125) を使って、 アースケーブル (H)(121) をスチールフレームの穴 (I) に取り付けます。

- 2 本の M5 × 30mm ネジ (112) と 2 本の M5 × 10mm ネジ (110) を使って、 コントロールパネル (36) をハンドルバーのフレーム (5) に取り付けます。



組立に関する注意事項

コントロールパネルの取付けインターフェイスブラケット (アイテム 3&4) を組立てる際、 ブラケットをコントロールパネルの背面に向かって、 一番奥までスライドした上でボルトを締めて下さい。

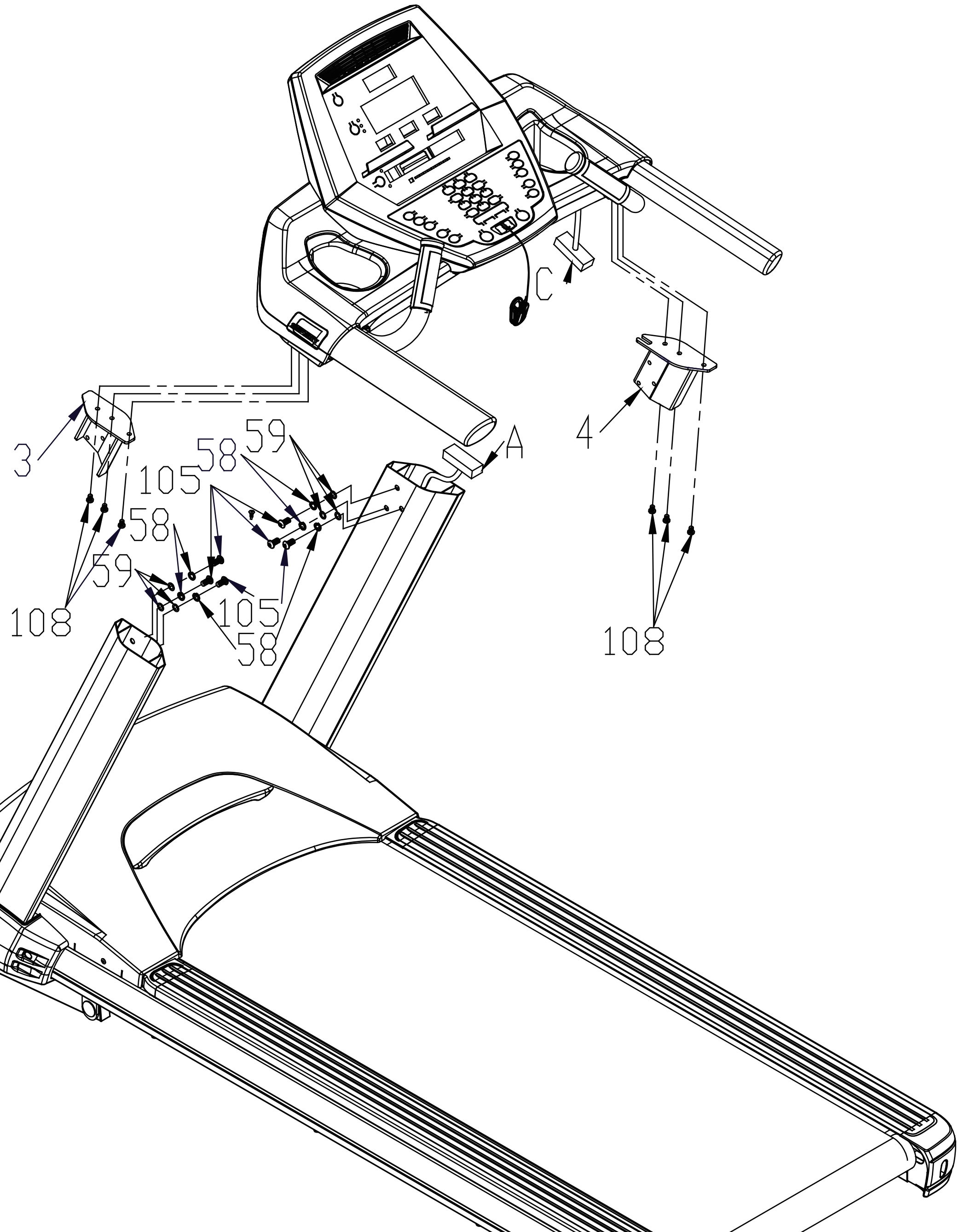


ステップ 3: コントロールパネルを支柱に取付け

- 6 本の M8 × 12mm ネジ (108) を使って、 2 つのインターフェイス・ブラケット (左 3 & 右 4) をコントロールパネルの取り付けフレームに取り付けます。

- コントロールパネルのコンピュータケーブル (C)(120) を、 支柱からのペアリングケーブル (A)(87) に接続します。

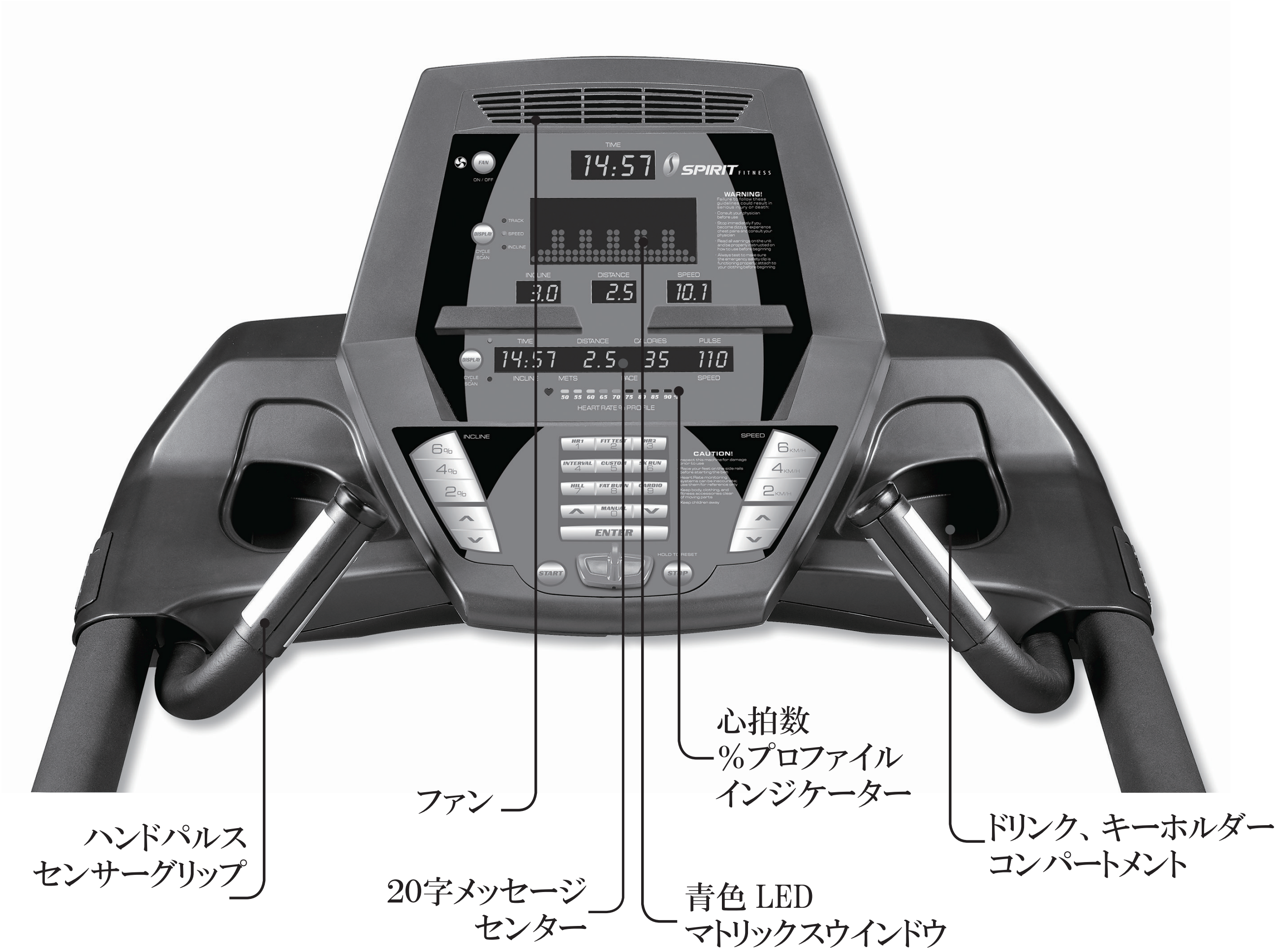
- 6 本の 3/8” × 3/4” ボルト (105)、 3/8” 割りワッシャー (58) と 3/8” 平ワッシャー (59) を使って、 組み立てたコントロールパネルを支柱の上部に取り付けます。 作業の際は、 コンピュータケーブルを挟まないようにご注意ください。



トレッドミルの操作方法

コントロールパネルの説明

コントロールパネル



スタートアップ

トレッドミルのプラグを適切な壁コンセントに差し込み、トレッドミル前面のモーターカバーの下にある電源スイッチをオンにします。 安全キーが差し込まれていない場合、 電源がオンになりませんので、ご注意下さい。

電源がオンになると、 ディスプレイ上の全てのライトが短時間に点灯します。 それから、 タイム（時間）と距離の画面に走行距離計の測定値が短時間に表示されます。 タイムの画面にはトレッドミルの使用時間が表示され、 距離の画面にはトレッドミルの走行距離 がキロ数（マイル表示と設定されている場合はマイル数で表記。 設定の変更はメンテナンスをご参照ください）で表示されます。 現在のソフトウェアのバージョン情報が表示された後に、トレッドミルは操作の初期モードであるアイドルモードに入ります。

クイックスタート

- ディスプレイがオフになっている場合、 どれかのボタンを押して画面をオンにします。
- スタート ボタンを押して離すことで、 ベルトを 0.8kph のスピードでスタートさせます。 右下にある加速 / 減速ボタンで希望のスピードになるまで調整します。 3 から 9 までのスピードボタンを使って直接スピードを設定することもできます。
- 走行ベルトのスピードを落とすには、 希望のスピードになるまで、 減速ボタン （コントロールパネルまたは手すり） を押し続けるか、 3 から 9 までのワンタッチスピードボタンを使います。
- トレッドミルを止めるには、 ストップボタンを押して下さい。

トレッドミルの機能

一時停止 / ストップ / リセット

- トレッドミルが動作している時に、 赤色のストップボタンを押すことで、 マシンを一時停止させることができます。 このボタンが押されると、走行ベルトが停止するまで、徐々に減速します。 タイム （時間）、距離 （距離） とカロリー （カロリー） の測定値も一時停止モードに入り、5 分後に画面がリセットされ、 スタート画面に戻ります。
- 一時停止モードから運動を再開する場合は、 スタートボタンを押して下さい。
- ストップボタンを 2 回押すことで、 プログラムを終了させることができます。 その場合、トレーニングの要約が表示されます。 ストップボタンを 3 回目押すと、 コントロールパネルはアイドル （スタートアップ） モードに入ります。
- ストップボタンを 3 秒以上押し続ける場合、 コントロールパネルはリセットします。
- 年齢や時間などの設定をしている時に、 ストップボタンを押すたびに、 一つ前のステップに戻ります。

傾斜

- 傾斜度は、 ベルトが動き始めた後に、 いつでも調整することが可能です。
- ▲▼ ボタンを押し続けて、 希望のレベルまで調整して下さい。 コントロールパネルの左側 （傾斜） にある 2 から 6 までのワンタッチ傾斜ボタンを使う事で、 より早く傾斜を増加・減少することができます。
- 傾斜度の数値は、 傾斜のパーセンテージ （道路の傾斜と同じ仕組み） で表示されます。

マトリックスウインドウの表示

10 行のドットが手動モードのトレーニングのレベルを表しています。 これらのドットは運動のレベル（スピード・傾斜） をあらわすもので、特定の数値ではなく、強度のレベルを比較するためにおおよそのパーセンテージを意味します。 手動操作の際、 スピード・傾斜ドットマトリックス画面では、トレーニング中の各数値の変動を「画像」で表示します。 縦の 24 列は時間を表します。 プログラムの合計時間は 24 等分され表示されます。 時間をゼロからカウントアップしている時は、 1 列は 1 分間を表します。

ドットマトリックス画面の隣に、トラック、 スピードと傾斜のラベルが付いている 3 つの LED ライトと表示ボタンがあります。トラックの LED が点灯している時は、トラックのプロファイルが表示され、 スピードの LED が点灯している時は、 スピードのプロファイルが表示され、 傾斜の LED が点灯している時は、 傾斜のプロファイルが表示されています。 表示ボタンを押して、ドットマトリックスの表示を変更することができます。3 つのプロファイルをスクロールした後に、 自動的に各プロファイルを 4 秒間ずつ表示するようになります。表示されているプロファイルに対応している LED はその間に点滅します。 更に表示ボタンを押すと、トラックのプロファイルに戻ります。

0.4 km トラック

0.4km (1/4 マイル) トラックはマトリックスウインドウの周りに表示されます。 点滅しているドットは進行状況を示します。トラックの中央に、トラックの周数が表示されます。

心拍数測定機能

心拍数画面に、 現在の 1 分当たりの心拍数が表示されます。 心拍数を測るには、 左右のハンドパルスセンサーを同時に軽く握って下さい。 心拍の信号が検出されると、 画面に表示されます。「心拍数コントロール」プログラムを使用する際、 この機能を使う事ができます。 コード化された信号を含み、 Polar 互換性のあるワイアレスチェストベルト送信機の信号も検出できます。

心拍数%プロファイルインジケーター

このグラフは、 ユーザーの最大心拍数に対する現在の数値をパーセンテージで表示します。 プログラムに年齢を入力すると、 コンピュータは自動的に年齢に応じた最大心拍数を算出し、 現在の心拍数が最大値に対するパーセントをグラフで表示します。

20字メッセージセンター

この画面に、 プログラムのプロセスを案内するメッセージやレーニングのデータが表示されます。

自動電源オフ

30 分以上使用されない場合、 画面は自動的にオフ（スリープ状態に入ります）になります。 この状態はスリープモードと言います。 スリープモードでは、 ボタンや安全キーなどの動きを検出するための最小限の電源以外、 その他のほとんどの回路をオフにしています。 テレビがオフになっている状態と同じく、 微量の電力しか消費しないので、 スリープモードで主電源のスイッチをオンのままにしておくことに全く問題ありません。

安全キーを外すまたは主電源をオフにすることでトレッドミルを完全にオフにすることもできます。

新しくなった SPIRIT トレッドミルは、 5 つのプリセットプログラムを用意しています：1 つのカスタム機能プログラム、 2 つの心拍数コントロールプログラム、 1 つの Gerkin 方式フィットテスト、 と 1 つのマニュアルプログラム。

プリセットプログラムの選択と開始

- プログラムを選択した後に、 個人データを入力しプログラムをカスタマイズするか、 スタートボタンを押してデフォルト設定で、 プログラムをスタートさせます。

- プログラムの選択と個人データ入力の後、 タイムの表示画面に 20 分というデフォルトの数値が点滅し始めますので、 上下の矢印ボタンで時間を設定し、 エンターボタンを押して下さい。
（注：データを設定している間、 いつでもスタートボタンを押して、 設定済みの数値でプログラムを始めることができます。）

- 次は傾斜の表示画面にユーザーの年齢を示す値が点滅します。 適切な年齢を入力して下さい。この数値は、 心拍数バーグラフや HR （心拍数） プログラムに影響を与えます。 上下の矢印ボタンで設定した上で、 エンターボタンを押して下さい。

- 距離表示画面にユーザーの体重を示す値が点滅します。 適切な体重を入力して下さい。 この数値は、 カロリー表示の数値を影響します。 上下の矢印ボタンで設定した上で、 エンターボタンを押して下さい。

- スピードの表示画面に選択されたプログラムにプリセットされたスピードの最高値が点滅します。 上下の矢印ボタンで設定した上で、エンターボタンを押して下さい。 各プログラムに、様々なスピードの変化が組み込まれており、 この設定でスピードの最高値を指定することができます。

- 以上の設定が終了した後に、 スタート ボタンを押してトレーニングを開始します。

- プログラムが開始する前に、 3 分間のウォームアップが組み込まれています。 スタートボタンを押すことで、 このウォームアップをスキップすることもできます。 ウォームアップ運動中に、 時計は 3 分間をカウントダウンします。

プログラム機能

プリセットプログラムのスピードと傾斜度の設定

プリセットプログラムのスピードと傾斜度のレベルは次に表に表示します。 表に記載されているスピードの数値は、 プログラムの最高スピード値に対するパーセンテージを表します。 例えば、 P1（プログラム 1：ヒル）の一つ目のスピード値は 20 で、 プログラムのこの区分のスピードが最高スピード値（ユーザーが上記の手順で設定したスピードの最高値）の 20％を意味します。 スピードの最高値を 10 km/h と設定した場合合、 プログラム最初の区分のスピードは 2 km/h となります。 また、 12 区分の数値は 100 となっているため、 スピードが 10 km/h の 100% という事で、 10 km/h となります。

Prog	SEG	Warm up			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	Cool down		
P1	Speed	20	30	40	50	60	60	70	70	70	80	80	70	80	80	100	100	70	80	80	70	70	80	80	70	60	60	50	40	30	20
	Incline	0	0	0	0	1	2	3	3	4	3	3	4	4	5	3	3	4	3	3	4	4	5	4	3	1	1	0	0	0	0
P2	Speed	20	30	40	50	60	60	70	80	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	80	70	60	50	40	30	20
	Incline	0	0	0	0	1	2	3	3	3	4	5	3	3	4	4	3	3	2	2	3	4	5	6	4	2	1	0	0	0	0
P3	Speed	20	30	40	50	60	60	70	70	70	80	70	70	80	80	60	70	80	80	70	70	70	100	70	80	60	60	50	40	30	20
	Incline	0	0	0	0	1	1	1	2	2	3	2	2	3	3	1	2	3	3	2	2	4	4	2	3	1	1	0	0	0	0
P4	Speed	20	30	40	50	60	60	70	80	100	60	60	70	80	100	60	70	100	60	70	100	60	70	80	70	60	60	50	40	30	20
	Incline	0	0	0	0	1	2	3	5	6	2	3	5	6	7	2	3	7	2	3	8	2	3	5	4	3	1	0	0	0	0

Prog ＝ プログラム；SEG ＝ セグメント；Warm up ＝ウォームアップ；Cool down ＝ クールダウン；
Speed ＝ スピード；Incline ＝ 傾斜
P1 ＝ ヒル；P2 ＝ 有酸素；P3 ＝ カルディオ；P4 ＝ インターバル

カスタムプログラム

- カスタムプログラムを選択してエンターを押します。ドットマトリックス画面の一番下に、 1 行だけのドットが点灯します（以前に保存したプログラムがある場合は除く）。
- 時計（時間）の表示画面が点滅しますので、 上下矢印ボタンで希望の時間を設定し、 エンターを押して下さい（時間の調整をしない場合、次のステップに進むためにエンターを押して下さい。）
- 傾斜の表示画面にユーザーの年齢を示す値が点滅しますので、 適切な年齢を入力して下さい。この数値は、 心拍数バーグラフに影響を与えます。 上下矢印ボタンで設定した上で、 エンターボタンを押して下さい。
- 距離表示画面にユーザーの体重を示す値が点滅しますので、 適切な体重を入力して下さい。 この数値は、 カロリー表示の数値を影響します。 上下矢印ボタンで設定した上で、 エンターボタンを押して下さい。
- 第 1 列（区分）のスピード設定が点滅するので、 加速 / 減速ボタンで第 1 区分のスピードレベルを設定し、 エンターボタンを押して下さい。 その後、 次の設定欄が点滅する（一つ前の区分の設定が引き継がれます）ので、 全部の区分の設定が完了するまで、 上記の手順を繰り返して下さい。
- スピードの設定が完了すると、 第 1 列のドットが再度点滅します。 ここから傾斜度の設定をします。スピードの設定と同じ手順で傾斜を設定して下さい。
- スタートボタンを押して、 プログラムを保存し、トレーニングが開始します。

5K RUN

このプログラムは自動的に 5 キロの距離を走行目標として設定しています。トラックの表示画面に、 1周5キロのループが表示され、 距離の画面も5キロからスタートします。 プログラムが開始すると、 距離数がカウントダウンし、 ゼロになった時点で、 プログラムが終了します。
＊設定をメートル法に変更していない場合、 コントロールパネルには、 時間当たりのマイル数をスピードとして表示されます。

フィットテスト

フィットテストは、 Gerkin 法もしくは「消防士プロトコル」に基づく、 サブマックス VO2 テストです。 このテストは、 ユーザーが最大心拍数の 85% に達するまで、 スピードと角度を増やし、 85% に到達するためにかかった時間により、 下記の表の通りに、 テストのスコアが決まります。

Stage	Time	Speed	Grade	VO2 Max
1	0 to 1:00	4.5mph	0%	31.15
2.1	1:15	4.5mph	2%	32.55
2.2	1:30	4.5mph	2%	33.6
2.3	1:45	4.5mph	2%	34.65
2.4	2:00	4.5mph	2%	35.35
3.1	2:15	5.0mph	2%	37.45
3.2	2:30	5.0mph	2%	39.55
3.3	2:45	5.0mph	2%	41.3
3.4	3:00	5.0mph	2%	43.4
4.1	3:15	5.0mph	4%	44.1
4.2	3:30	5.0mph	4%	45.15
4.3	3:45	5.0mph	4%	46.2
4.4	4:00	5.0mph	4%	46.5
5.1	4:15	5.5mph	4%	48.6
5.2	4:30	5.5mph	4%	50
5.3	4:45	5.5mph	4%	51.4
5.4	5:00	5.5mph	4%	52.8
6.1	5:15	5.5mph	6%	53.9
6.2	5:30	5.5mph	6%	54.9
6.3	5:45	5.5mph	6%	56
6.4	6:00	5.5mph	6%	57
7.1	6:15	6.0mph	6%	57.7
7.2	6:30	6.0mph	6%	58.8
7.3	6:45	6.0mph	6%	60.2
7.4	7:00	6.0mph	6%	61.2
8.1	7:15	6.0mph	8%	62.3
8.2	7:30	6.0mph	8%	63.3
8.3	7:45	6.0mph	8%	64
8.4	8:00	6.0mph	8%	65
9.1	8:15	6.5mph	8%	66.5
9.2	8:30	6.5mph	8%	68.2
9.3	8:45	6.5mph	8%	69
9.4	9:00	6.5mph	8%	70.7
10.1	9:15	6.5mph	10%	72.1
10.2	9:30	6.5mph	10%	73.1
10.3	9:45	6.5mph	10%	73.8
10.4	10:00	6.5mph	10%	74.9
11.1	10:15	7.0mph	10%	76.3
11.2	10:30	7.0mph	10%	77.7
11.3	10:45	7.0mph	10%	79.1
11.4	11:00	7.0mph	10%	80

Stage ＝ 周期、期；Time ＝ タイム；Speed ＝ スピード；Grade ＝ 傾斜；
VO2MAX ＝ 最大酸素摂取量；mph ＝ mile/h 1 mph ＝ 約 1.6 km/h

テストの前に

- 健康であることを確認して下さい。 35 歳以上または既知の既往症等がある方は、 エクササイズを行う前に医師にご相談下さい。
- テストを受ける前に、 ウォームアップとストレッチ運動を行って下さい。
- テストの前はカフェインの摂取をお控えください。
- ハンドパルスセンサーを使用する際、 緊張せずにハンドルを軽く握って下さい。

フィットテストのプログラミング

1. フィットテストボタンとエンターを押します。
2. メッセージ画面に年齢を入力するように求められるので、 上下矢印ボタンで傾斜画面に表示される年齢を設定した上で、 エンターを押して次のステップに進みます。
3. 次は体重を入力します。 上下矢印ボタンで距離画面に表示される体重を設定した上で、エンターを押します
4. 最後はスタートを押してテストを開始します。

テスト中

- テストを開始させるために、 コントロールパネルが安定した心拍数の受信をする必要があります。ハンドパルスセンサー、 もしくはチェストベルトトランスミッター（別売）を使用して下さい。
- 実際のテストが開始する前に、 4.8kph(3mph) のスピードで、 3 分間のウォームアップがあります。
- テスト中に下記のデータが表示されます。
    - a. タイム：経過時間
    - b. 傾斜：パーセンテージのグレード
    - c. 距離：設定により、 マイル数もしくはキロ数
    - d. スピード：設定により、MPH もしくは KPH
    - e. メッセージセンター：目標心拍数と実際の心拍数

テストの後

- 1 ～ 3 分のクールダウン運動を行って下さい。
- コントロールパネルは数分後に、 自動的にスタートアップモードに戻るので、 テストスコアをお控えください。

スコアの意味

男性及び非常に健康な女性用 VO_{2max} 表

Age	18-25	26-35	36-45	46-55	56-65	65+
Excellent	>60	>56	>51	>45	>41	>37
Good	52-60	49-56	43-51	39-45	36-41	33-37
Above average	47-51	43-48	39-42	35-38	32-35	29-32
Average	42-46	40-42	35-38	32-35	30-31	26-28
Below average	37-41	35-39	31-34	29-31	26-29	22-25
Poor	30-36	30-34	26-30	25-28	22-25	20-21
Very poor	<30	<30	<26	<25	<22	<20

Age = 年齢；Excellent ＝ 優秀；Good ＝ 優れている；Above average ＝ 標準より優れている；Average ＝ 標準；Below average ＝ 標準より劣る；Poor ＝ 劣っている；Very poor ＝ 非常に劣っている

女性及び健康状態が良くない男性用 VO_{2max} 表

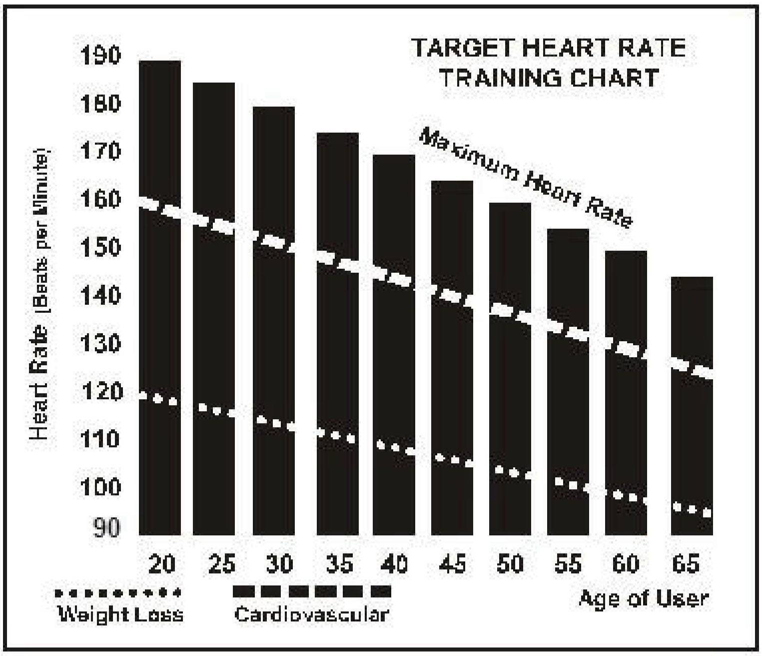
Age	18-25	26-35	36-45	46-55	56-65	65+
Excellent	>56	>52	>45	>40	>37	>32
Good	47-56	45-52	38-45	34-40	32-37	28-32
Above average	42-46	39-44	34-37	31-33	28-31	25-27
Average	38-41	35-38	31-33	28-30	25-27	22-24
Below average	33-37	31-34	27-30	25-27	22-24	19-22
Poor	28-32	26-30	22-26	20-24	18-21	17-18
Very poor	<28	<26	<22	<20	<18	<17

Age = 年齢；Excellent ＝ 優秀；Good ＝ 優れている；Above average ＝ 標準より優れている；Average ＝ 標準；Below average ＝ 標準より劣る；Poor ＝ 劣っている；Very poor ＝ 非常に劣っている

目標心拍数

「苦労なくして得るものなし」という古い考えは、 今の快適な運動による得られるメリットに圧倒されてしまいます。 心拍数モニターの使用がこの成功に大きな役割を果たしています。 心拍数モニターを適切に使用することで、 心拍数を希望の範囲内に維持させることができ、 今まで自身の意識で選択してきたエクササイズが強すぎか弱すぎのどちらかにしか感じられなかった人も、 運動することを楽しく感じるはずです。

トレーニングの最適心拍数範囲決めるためには、 まず自身の最大心拍数（運動の際に、超えてはいけない心拍数）を知る必要があります。 この数値は次に式で算出することができます。



220 － ユーザーの年齢 ＝ 最大心拍数

（プログラムに年齢を入力すると、 コンピュータは自動的にこの計算を行います。）

これは心拍数コントロールプログラム及び心拍数バーグラフに使用されます。最大心拍数を算出した後に、 目標を設定しましょう。 最も人気の有る目標は、 心臓血管の健康促進（心臓や肺のためのトレーニング）と体重コントロールです。 上記の図の黒い棒線は、 特定の年齢（横軸）の人の最大心拍数（縦軸）を表します。 心臓血管の健康促進とダイエットに適したトレーニングゾーンは、 グラフを斜めにカットする 2 本の点線で表示されています。 それぞれの点線が示す目標は、 グラフの左下に記載されています。 心血管の健康促進とダイエットの目標は、 それぞれ最大心拍数の 80% と 60% でかつ、 医師に承認されたスケジュールのトレーニングで達成することができます。 プログラムを始める前に、 医師にご相談下さい。SPIRIT の心拍数コントロール機能付きのトレッドミルを使用する場合、 どのプログラムに対しても心拍数コントロール機能が有効なので、「心拍数コントロールプログラム」を使用しなくても、 目標のトレーニングができます。 心拍数コントロールプログラムの場合は、 傾斜度を自動的に調整します。

注意！

HR-1 及び HR-2 プログラムは、 正常で健康な人を対象としています。 自分の限界を超えないようにご注意ください。 希望の目標に達成できない可能性があります。 問題がある場合は、 より高い年齢またはより低い目標を設定しましょう。

チェストベルトトランスミッターの使用に関して（別売）

ワイアレストランスミッター（発信器）の装着方法

1. ロック用部品を使って、トランスミッターをストラップに取り付けます。
2. ストラップを身体が快適と感じられる範囲で、 できるだけきつく締めます。
3. トランスミッターを身体のセンターラインに、ロゴが付いている側を外向けに位置調整します（人によっては、 身体のセンターラインより少し左側に置く必要があります）。 ストラップの丸くなっている側を挿入して、ストラップの最終取付けを行い、更にロック用部品を使って、トランスミッターとストラップを胸に固定させます。
4. トランスミッターが胸筋のすぐ下になるように位置調整します。
5. 汗は心拍電気信号を測定するための最良の導体ですが、 事前に水で電極（トランスミッターの両側、 ベルトの裏側にある 2 つの黒い部分）を濡らすこともできます。 運動を開始する前に、トランスミッターを着用してウォームアップすることをお薦めします。 人によって、 生体の化学反応が異なるため、 最初は、 安定した強い信号を発生させることが難しい場合もありますが、「ウォームアップ」の後は、良くなります。 また、トランスミッター / ストラップの上に衣服を着用することは、性能に影響を与えることはありません。
6. 運動している際、安定した強い信号を確保するために、ユーザーは常に受信範囲内（トランスミッターと受信機の間の距離）にいる必要があります。 受信範囲は多少異なりますが、 基本的にはコントロールパネルの近くにいて下さい。 運動する時は、トランスミッターを素肌に付けることを推奨しますが、 シャツの上に装着しても問題ありません。 その場合、 シャツの電極と接触する場所を湿らせて下さい。

注：トランスミッターは心拍を検出したら自動的に起動し、 また、 何も検出しない場合は動作を停止します。トランスミッターは耐水性ですが、 湿気が偽信号の原因になるので、 バッテリーの寿命（推定トランスミッターのバッテリー寿命は 2500 時間です）を延ばすために、 使用後はトランスミッターを完全に乾燥させて下さい。 チェストストラップに交換可能なバッテリーを使用する場合、 交換用電池はパナソニック CR2032 をご使用ください。

動作が不安定の場合

注意！安定した実際の心拍数が表示されていない場合、 バイクを使用しないで下さい。 数値が極端的に高かったり、 大きく変動したり、 またはランダムになったりする際は、 問題が発生していることを意味します。

下記の項目を点検して、 干渉が起きているかを確認して下さい

(1) 電子レンジ、 テレビ、 小型家電製品、 など
(2) 蛍光灯
(3) 一部の家庭用セキュリティシステム
(4) ペット用境界フェンス
(5) 人によってトランスミッターが信号を検出しない場合があります。 この場合、トランスミッターを逆さまに着用して下さい。 通常はトランスミッターのロゴの右側が上に向くように配置します。
(6) 心拍の信号を受信するアンテナが非常に敏感です。 外部のノイズ源がある場合、 マシンを 90 度回転することで、 干渉が解除される可能性があります。
(7) 問題を解決できない場合、 販売店までお問い合わせください。

警告！

心拍数がトレッドミルの表示画面に正しく登録されていない場合、「心拍数コントロールプログラム」を使用しないで下さい。

心拍数コントロール

心拍数コントロールプログラムの仕組み

心拍数コントロール (HRC) は、トレッドミルの傾斜システムを使って心拍数を調整します。 上り角度の増減は、 スピードの増減だけを使うよりも、 効率的に心拍数を調整することができます。 HRC プログラムは、自動的にゆっくり上り角度を調整して、 設定された目標心拍数を達成します。

心拍数オートパイロット機能

このユニークな機能により、 ユーザーはいつでもボタン一つで心拍数コントロールモードに入ることができます。 HR2 のプログラムボタンは、 オートパイロットボタンとしても使用できます。どのプログラムを使用していても、 このオートパイロットボタンを押して、 HRC プログラムに入る事が可能です。 このボタンを押した時点での心拍数は記憶され、 オートパイロットプログラムにより維持されます。 傾斜の上下矢印ボタンで目標心拍数を変更する事もできます。

心拍数コントロールプログラムを選択する

セットアップモードの時に、 体重コントロール (HR-1) プログラムまたは心血管促進 (HR-2) プログラムを選択することが可能です。 体重コントロールプログラムは、 心拍数を最大心拍数の 70% レベルに維持し、心血管促進プログラムは、心拍数を最大心拍数の 90% レベルに維持します。 最大心拍数は 220 からユーザーの年齢を引いた数値になり、 年齢を入力した時点でコンピュータにより自動的に算出されます。

心拍数コントロールプログラム

安定した強い心拍の信号を受信して、 安定した数値が心拍数画面に表示されないと、 このプログラムは開始しません。

- HR1 または HR2 ボタンを押します。
- パルス画面が点滅し、 デフォルトの心拍数を表示します。 希望の数値まで調整し、 エンターボタンを押します。 デフォルトの数値でよければ、 そのままエンターを押して下さい。
- カロリー画面が点滅し、 体重を表示します。 体重を設定してエンターボタンを押すか、 そのままエンターを押してデフォルトの数値を使用します。
- Pulse 画面が点滅し、 年齢を表示します。 年齢を設定してエンターボタンを押すか、 そのままエンターを押してデフォルトの数値を使用します。 年齢を変更すると、 目標心拍数が変わります。
- タイム画面が点滅するので、 時間を調整してエンターを押します。
- スタートを押してプログラムを開始します。

プログラム中に、 傾斜の上下矢印ボタンで目標心拍数を変更することが可能です。

- スタートボタンを押して、 プログラムを保存し、トレーニングが開始します。

オートパイロット

HR2 ボタンはオートパイロットのボタンとしても使えます。 どのプログラムを使用していても、 オートパイロットのボタン (HR2 ボタン) を押すことで、 自動的に心拍数コントロールモードに入ります。

オートパイロットを使用する際

あるプログラムを使用している時に、維持したい心拍数に達したら、オートパイロットのボタンを押すことで、コントロールパネルは心拍数コントロールモードに切り替え、 現在の心拍数を維持するようにします。

一般的なメンテナンス

ベルトと走行板 － 本製品は高効率で低摩擦の走行板を使用しており、 この高性能を最大限に活かす為に、 走行板をできるだけ清潔に保つ必要があります。 柔らかい、 湿った布またはペーパタオルを使って、 ベルトのエッジ部分及びベルトエッジとフレームの間のエリアを拭いて下さい。 また、 できるだけ奥まで拭いて下さい。 月一回の掃除はベルトと走行板の寿命を延ばす事ができます。 洗剤や研磨剤を使用せず、 水をお使い下さい。 織り目加工されているベルトを掃除する際は、 中性洗剤と水の溶液及びナイロンブラシをお使い下さい。 ベルトが乾いた後にご使用ください。

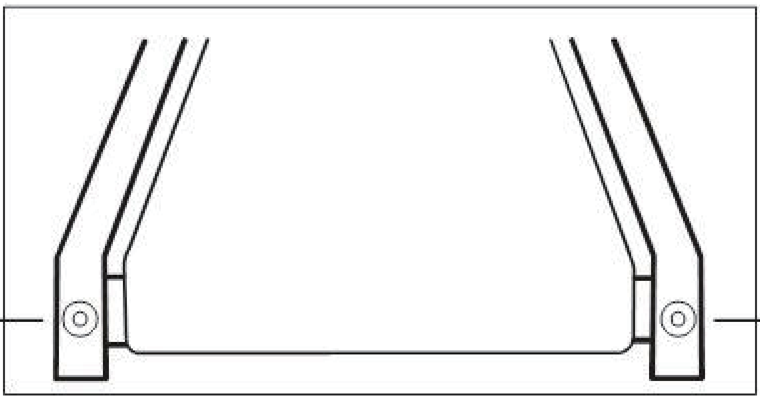
ベルトダスト － ダストは通常の慣らし運転またはベルトが安定するまでの間起こる現象です。 湿った布で余分のダストを拭きとることで、 埃の蓄積を最小限にすることができます。

一般的なクリーニング － 汚れや、 ほこりまたはペットの毛などは、 空気の取り入れ口をブロックし、 ランニングベルトの上に蓄積します。 月に一度、 トレッドミルの下を掃除機をかけてほこりなどの蓄積を防止し、 年に一度、 黒色のモーターカバーを外して掃除機をかけて下さい。 これらの作業を行う際は、 電源コードを抜いて下さい。

ベルトの調整

走行ベルトのテンション調整 － テンション調整は後部のローラのみからおこなってください。 調整ボルトは、 ステップレールの端、 エンドキャップの中にあります。 下記の図をご参照ください。

トラッキング / テンション調整



トラッキング / テンション調整

注：エンドキャップの中にある穴から調整を行います

前部のローラが滑らない程度、 後部のロールについているボルトを締めます。 二つのテンション調整ボルトを 1/4 周刻みで回し、 低速でベルトの上を歩いてみます。 ベルトが滑らなくなるまで、 ボルトを締めて下さい。

- **ボルトを十分に締めたにもかかわらず、 ベルトが滑る場合は、 前面カバーの下にあるモータドライブのベルトが緩んでいる可能性があります。**

締めすぎないようにご注意ください － 締めすぎはベルトの損傷や早い時期のベアリング故障の原因になります。

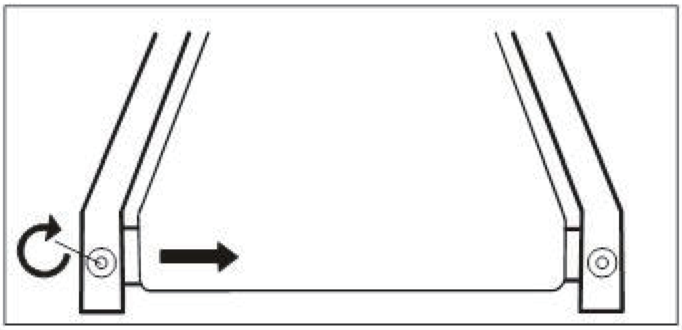
走行ベルトのトラッキング調整

トレッドミルの性能は、 フレームが平らな面にあるかに依存します。 フレームが水平でない場合、 前部と後部のローラは並行に走行することができず、 ベルト調整が頻繁に必要となります。

トレッドミルは、走行ベルトが使用中、常にセンタによるように設計されています。 使用されていない時は、ベルトが片側に偏っても問題ありませんが、 数分間使用しても、 ベルトが中央に戻らず、 偏る場合は調整が必要となります。

走行ベルト・トラッキングの調整

トラッキングの調整は、 付属品の 10 mm 六角レンチを使って、 ベルトのスピードを約 3 ～ 5kph にして、後部の左ローラから行います。



小さな調整でも、 劇的な違いを生むことをお忘れなく！

ボルトを時計回りに回すと、 ベルトを右に移動できます。 ベルトが自動調整するので、 1/4 周を回して数分間待ちます。 ベルトが中央になるまで、 1/4 回転ずつボルトを回して下さい。

ベルトの調整は、 用途や走行特性等により、 定期的に必要となる場合があります。 ユーザーによって、トラッキングに対する影響が異なります。 必要に応じて、 走行ベルトをセンタリングして下さい。 ベルトを使用して行くうちに、 メンテナンスの必要も少なくなります。 適切なベルトトラッキングは、トレッドミルの所有者の共通の責任です。

注意

不適切なトラッキング / テンション調整に起因するランニングベルトへのダメージは、 保証の対象外なので、 ご了承ください。

サービスチェックリスト – 診断ガイド

販売店に問い合わせる前に、下記の事項を確認して下さい。時間と経費を節約できる可能性があります。本製品の保証でカバーできない項目もあるので、ご了承ください。

問題	原因 / 解決法
ディスプレイが点かない	1) 安全キーが所定位置に配置されていない可能性があります。 2) フロントグリルのブレーカが動作した可能性があります。ロックするまで、ブレーカを押します。 3) プラグが接続されていない可能性があります。プラグが 230 VAC の壁コンセントに押しこまれていることを確認します。 4) ブレーカパネルのブレーカが動作した可能性があります。 5) トレッドミルの故障。販売店にお問い合わせください。
走行ベルトが中心からずれる	ユーザーが歩く時に、左右どちらかの足に重みを置いている可能性があります。この歩き方が自然であれば、ベルトを少し反対側にずらすように、調整します。
走行ベルトが直ぐには動かない	「一般的なメンテナンス」の部分を参照して、走行ベルトのテンションを調整して下さい。モーター駆動ベルトが緩んでいる可能性もあります。
スタートを押してもモーターが反応しない	1) ベルトが短時間の間動いて停止し、ディスプレイに「LS」と表示された場合、キャリブレーションプロセスを 実行して下さい（次のページをご参照ください）。 2) スタートを押して、ベルトが全く動かなくし、ディスプレイに「LS」と表示された場合、販売店にお問い合わせください。
走行ベルトが 10 kph くらいのスピードしか出ないのに、ディスプレイではそれ以上の数値が表示されている	モーターへの電力供給が不足しています。延長コードを使用しないで下さい。どうしても延長コードが必要な場合は、できるだけ短いものでかつ 16 ゲージ以上のものをお使い下さい。電源の電圧が低すぎる可能性があります。電気技師または販売店にお問い合わせください。最低 200V、50/60 Hz が必要。
安全キーを引っ張ると、走行ベルトが急激に停止する	ベルト / デッキの摩擦が高過ぎ
10 アンペアのブレーカが落ちる	ベルト / デッキの摩擦が高過ぎ
寒い日に、使用中にコントロールパネルをタッチすると、コンピュータがオフになる	マシンが正しくアースされていない可能性があります。静電気の放電によりコンピュータがクラッシュしています。3 ページのアースに関する説明をご参照ください。
トレッドミルのブレーカーが落ちないのに、建物のブレーカーが落ちてしまう	**建物のメインブレーカを高い電流のタイプに換えて下さい。** (3 ページの説明をご参照ください)

キャリブレーション手順

1) 安全キーを外します。
2) 片手でスタートとスピードアップボタンを同時に押し続け、もう片手で安全キーを戻します。ディスプレイに「Factory settings」が表示されるまで、スタートとスピードアップボタン押し続け、最後にエンターを押します。
3) 次にMetric（メートル法）とEnglish（ヤード・ポンド法）の設定が表示され、上下の矢印ボタンで選択し、エンターを押します。
4) ホイールサイズの直径が2.98である事を確認し、エンターを押します。
5) 最低スピードを0.8kphに設定し（必要な場合）、エンターを押します。
6) 最高スピードを20.0kphに設定し（必要な場合）、エンターを押します。
7) 最高傾斜度を15に設定し（必要な場合）、エンターを押します。
8) スタートボタンを押してキャリブレーションを開始します。自動的にキャリブレーションが実行され、スピードが警告なしに速くなるので、ベルトの上に立たないで下さい。

スピードセンサーの調整

キャリブレーションがパスしなかった場合、スピードセンサーの位置調整を行う必要があります。

1) モーターカバーを外します。
2) スピードセンサーは、フレームの左側に位置しており、前部ローラプーリー（プーリーにモーターと繋がっているベルトがかかっています）の隣にあります。スピードセンサーは黒くて小さいもので、ワイヤーと繋がっています。
3) センサが滑車と接触しない範囲でできるだけ、滑車の近づいていることを確認して下さい。滑車の表面にマグネットが付いており、センサがこのマグネットと一直線上にある事を確認して下さい。センサの位置を調整するには、センサを固定しているネジを緩める必要があります。位置調整が終了したら、ネジを締め直してください。

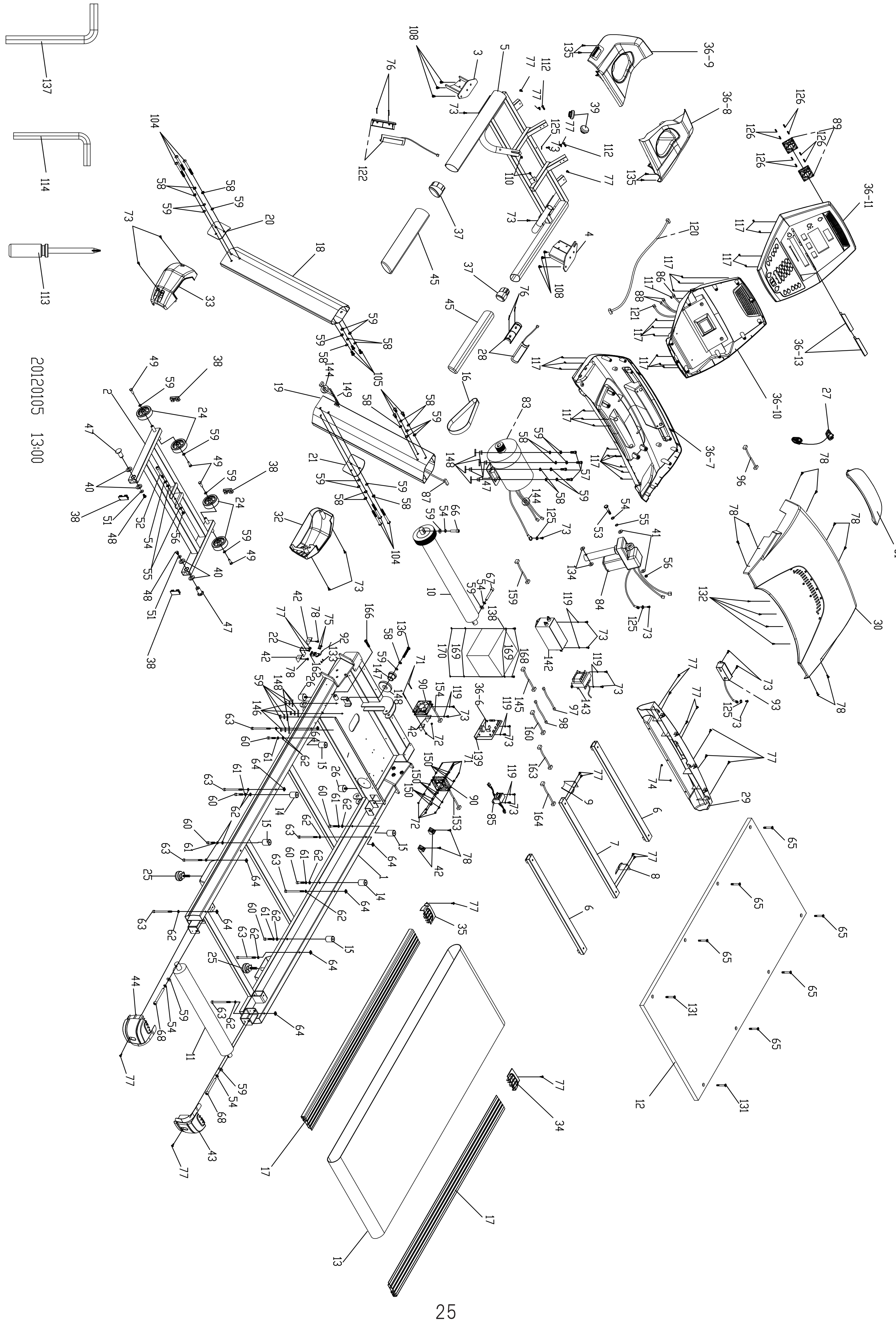
メンテナンスメニュー

1) ディスプレイに「Engineering mode」（バージョンにより、「maintenance menu」と表示される場合もあります）が表示されるまで、スタート、ストップ及びエンターボタンを同時に押し続け、最後にエンターを押します。
2) 上下の矢印ボタンでメニュをスクロールし、ストップボタンで一つ前のメニュに戻ることができます。

メニューは下記通りです。

1) Key Test ― 各ボタンを押して正常に機能しているかを確認します
2) Display test ― ライトやLED
3) Functions（機能）
   - i. Sleep ― スリープモードをオン / オフします。オフの際、ディスプレイが常に点灯しています
   - ii. Pause ― 一時停止モードをオン / オフします。オンの際、一時停止が5分続きます。
   - iii. Maintenance ― 潤滑メッセージとオドメータの読み取り値をリセットします
   - iv. Units ― 表示をヤード・ポンド法またはメートル法に設定します
   - v. Grade Return (GS Mode) ― 一時停止が押されたときに最も低い設定の角度に戻します。
   - vi. Beep ― スピーカ（ビープ音）をオン / オフします。
4) Security ― チャイルドロック機能を設定します。予め決められたキーシーケンスが押されるまで、キーパッドがロックされます。キーシーケンス ＝ ロックを解除するまでスタート & エンターを同時に押し続けます。

分解図



パーツリスト

#	パーツ概要	数量
1	メインフレーム	1
2	傾斜ブラケット	1
3	インターフェース取り付けブラケット、 左	1
4	インターフェース取り付けブラケット、 右	1
5	コントロールパネルサポート	1
6	デッキクロスブレース A	2
7	デッキクロスブレース B	1
8	ベルトガイド右	1
9	ベルトガイド左	1
10	前部ローラーアセンブリ、 プーリー付	1
11	後部ローラーアセンブリ	1
12	走行板	1
13	走行ベルト	1
14	クッション A	2
15	クッション B	4
16	モータードライブベルト	1
17	1380mm アルミステップレール	2
18	アルミ支柱 (左)	1
19	アルミ支柱 (右)	1
20	支柱保持版 (左)	1
21	支柱保持版 (右)	1
22	ホールセンサー取り付けブラケット	1
24	移動用ホイール	4
25	調整足	2
26	ラバーストップ、 傾斜	2
27	安全キー	1
28	ハンドパルスセンサーアセンブリ、 ケーブル付、（B）（左）	1
29	前カバー	1
30	モータートップカバー	1
31	モーターカバー ID プレート	1
32	モーターベースキャップ（右）	1
33	モーターベースキャップ（左）	1
34	ステップレールキャップ（右）	1
35	ステップレールキャップ（左）	1
36	コントロールパネル	1
36-6	傾斜インターフェース基板	1
36-7	コントロールパネルボトムカバー	1
36-8	コントロールパネルアクセサリートレイ右	1
36-9	コントロールパネルアクセサリートレイ左	1
36-10	コントロールパネルケース、 バック	1
36-11	コントロールパネルケース、 フロント	1
36-13	本棚	2
37	楕円形チューブエンドキャップ	2
38	□25 × 50mm エンドキャップ	4

#	パーツ概要	数量
39	円形エンドキャップ	2
40	傾斜キャリッジスペーサー	4
41	Ø10 ×Ø25 × 0.8T ナイロンワッシャー 4	2
42	モーターカバーアンカー	6
43	後部ローラーエンドキャップ、 右	1
44	後部ローラーエンドキャップ、 左	1
45	ハンドグリップフォームグリップ	2
47	Ø18 ×Ø19 × 41L 根角ボルト	2
48	M8 × 1.25 × 12mm 六角ボルト	2
49	3/8″-16 × 25L 六角ボルト	4
51	Ø8.5 × 20 × 3.0T 平ワッシャー	2
52	M10 × 65L 六角ボルト	1
53	M10 × 50L 六角ボルト	1
54	Ø10 × 1.5T スプリングワッシャー	6
55	Ø10 ×Ø19 × 1.5T 平ワッシャー	3
56	M10 ナイロックナット	2
57	3/8″-16 × 1-1/2″ 六角穴ボルト	4
58	3/8” × 16.5 × 2.0 × 4H スプリングワッシャー	17
59	Ø3/8″ × 25 × 2T 平ワッシャー	29
60	M8 × 1.25 × 40L 六角穴ボルト	6
61	Ø8 × 1.5T スプリングワッシャー	6
62	Ø8 × 16 × 1T 平ワッシャー	14
63	M8 × 1.25 × 110L 六角穴ボルト	8
64	M8 × 1.25 × 6.5T 角型袋ナット	8
65	M8 × 1.25 × 55L フラットヘッド皿ボルト	6
66	M10 × 1.5 × 40L 六角穴ボルト	1
67	M10 × 1.5 × 80L 六角穴ボルト	1
68	M10 × 1.5 × 100L 六角穴ボルト	2
71	M3 × 50L プラスネジ	6
72	M3 ナイロックナット	6
73	M5 × 12L プラスネジ	22
74	M5 ナイロックナット	2
75	3.5 × 12L_ タッピングネジ	2
76	M3 × 20L_Self タッピングネジ	4
77	M5 × 12L_ タッピングネジ	19
78	M5 × 15L タッピングネジ	12
83	モーターアセンブリ	1
84	傾斜モーター	1
85	ステップダウントランス	1
86	コンピューターケーブル（G）（上部）400mm	1
87	コンピューターケーブル（A）（下部）1700mm	1
88	ハンドパルスワイヤー（E&F）（上部）（トップ）500mm	1
89	コントロールパネルファン	1
90	モーターコンパートメントファン	2
92	リードセンサー 1300mm ワイヤー付	1
93	AC インプットモジュール	1
96	電源コード	1
97	450mm 接続ワイヤー、 白	1

#	パーツ概要	数量
98	450mm 接続ワイヤー、 黒	1
104	3/8″-16 × 3-3/4″ 六角穴付ボルト	6
105	3/8″-16 × 3/4″ 六角穴付ボルト	6
108	M8 × 1.25 × 12L 六角穴ボルト	6
110	M5 × 10L プラスネジ	2
112	M5 ×× 30L プラスネジ	2
113	プラスドライバー	1
114	8mm L 型 六角レンチ	1
117	M3.5 × 12L タッピングネジ	26
119	M5 スプリングワッシャー	12
120	コンピューターケーブル（C）（中間部）600mm	1
121	アースワイヤー（H）470mm	1
122	ハンドパルスセンサーアセンブリ、ケーブル付（D）（右）	1
125	M5 スターワッシャー	4
131	M8 × 1.25 × 35L フラットヘッド皿ボルト	2
132	3.5 × 8L_ タッピングネジ	4
133	3.5 × 12L タッピングネジ	2
134	Ø10 ×Ø24 × 3T_ ナイロンワッシャー	2
135	M3 × 15L タッピングネジ	4
136	3/8″-16 × 2″ 六角ボルト	1
137	3/8″ L 型 六角レンチ	1
138	AC インバーターモーター	1
139	コントロール基板用 L タイプシートメタル	1
142	フィルター	1
143	チョーク	1
144	固定用 O リング	2
145	RS485 ケーブル	1
146	3/8″ × 7T ナイロックナット	4
147	アイソレーションブッシング	5
148	ナイロンワッシャー	9
149	エンディングテープ	1
150	アイソレーションパッド	12
153	モーターファン接続ケーブル（黒）	1
154	モーターファン接続ケーブル（白）	1
159	300mm 接続ワイヤー（白）	1
160	300mm 千知 zpリワイヤー（黒）	1
162	センサーラック	1
163	モーターファン接続ケーブル（白）	1
164	モーターファン接続ケーブル（黒）	1
166	3/8″-16 × 2″ 六角穴ボルト	1
167	M5 × 20L プラスネジ	2
168	**M4 × 25L_ プラスネジ**	2
169	**Ø4 × Ø10 × 1.0T_ 平ワッシャー**	4
170	**M4_ ナイロックナット**	2

保証とアフターサービス
必ずお読みください

（1）保証書（次項）

保証書は所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

（2）保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。（ただし、縫製部品は除きます。）

（3）保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

（4）補修用部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用部品を製造打ち切り後最低３年間保有しております。

＊ただし、需要具合によってはこの限りで無い場合もありますので、ご了承ください。

（5）ご使用中に普段と変わった状態になりましたら、直ちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。

＊お客様ご自身での分解・修理は危険です。絶対におやめください。

（6）修理・アフターサービスについてのご相談

修理に関するご相談ならびに、ご不明な点は、まずお買い上げ販売店にお申し付けください。

●ご転居されたり、ご贈答品などでお買い上げ販売店に修理などのご相談ができないときは、下記のダイヤコジャパン「お客様相談窓口」にお問合せください。

ダイヤコジャパン【お客様相談窓口】

０１２０－５５９－１６８

【受付時間】祝日を除く月～金１０：００～１７：００（都合によりお休みさせていただく場合がございます）

株式会社ダイヤコジャパン

ＴＥＬ：０３－６８０８－４５８８　ＦＡＸ：０３－６８０８－４６７７

〒１３４－００８８　東京都江戸川区西葛西６－１６－７　第２白子ビル　５０１

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用し、その記録を残すことがあります。
なお、お客様の個人情報は弊社で適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。

保　証　書
SPIRIT トレッドミル CT800

お買い上げ日	保証期間
年　　月　　日	お買上げ日より１年間

お　客　様
ふりがな
お名前　　　　　　　　　　　　様
ご住所 TEL:　　　　　（　　　　　）

販　売　店

この保証書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するもので。
本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
通信販売等で購入された場合は、商品の送り状に記載された荷着日をお買い上げ日とさせていただきます。
販売店欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお買い上げ販売店にお申し出いただき、記入を受けてください。
（販売店からの記入が無い場合は商品と同封されている納品書がその代わりになりますので、無くさない様に本保証書と一緒に大切に保管してください）

1. 取扱説明書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
3. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （ア）使用上の誤り及び不当な修理や改造による損傷。
   （イ）お買い上げ後の輸送、落下等による損傷。
   （ウ）火災、浸水、不慮の事故、その他天災による損傷。
   （エ）指定された使用条件以外で使用された場合の故障または損傷。
   （オ）指定外電源（電圧、周波数）使用による損傷。